

事業ID:16342150

事業名:国際的な海洋問題に係る周知啓発事業の推進(海と日本プロジェクト)

団体名:一般社団法人環境メディアフォーラム

極秘

日本財団御中

国際的な海洋問題に係る 周知啓発事業の推進 【事業実施報告書】

2017年2月〇日

一般社団法人環境メディアフォーラム

【国際的な海洋問題に係る周知啓発事業の推進】

気候変動に伴う生態系の変化や乱獲による水産資源の枯渇など、海洋には喫緊の課題が存在している。しかし、海水浴者数や臨海学校実施工数の減少などに象徴されるように、日本人にとって「海」に関する意識は希薄化してきている。長期的には、これは人材の不足につながり、海洋における課題解決を図る上で大きな障害になることが考えられる。

そこで本事業では、「海の日」を機に実施されるシンポジウムに海外における専門家及び実務者等を招聘し、実施の協力をする事で、参加者を含めて多くの日本人に海洋に関わる課題と解決方法を広く伝え、「海」に関する意識の向上を図ることを目的とする。

(1) 事業内容

海の日にあたり、海と日本プロジェクトにおける国際的な海洋問題に係るシンポジウムが、2016年7月19日～20日にザ・キャピトル東急にて行われる。本シンポジウムへの協力として、周知啓発事業を下記の通り行う。

1. 国内外の専門家及び実務者等の招聘

(1)人数:約40人

(2)招聘者

- a.政策決定関係者等(日本、パラオ、キリバス、米国、豪州、
バングラデシュ、ペルーソロモン諸島)
- b.海洋生物資源管理に関わる実務者
(日本、パラオ、トルコ、フィリピン、アイスランド)
- c.海洋環境保全に関わる実務者及び専門家
(豪州、カナダ、マダガスカル、ハワイ)
- d.気候変動に関わる実務者及び専門家
(米国、セーシェル、グレナダ、パプアニューギニア、日本)
- e.海洋教育に関わる実務者及び専門家
(米国、日本、インドネシア、ケニア)
- f.実務者育成に関わる実務者及び専門家
(英国、ガンビア、メキシコ、米国)
- g.その他、海洋における専門家及び実務者等
(米国、東インド洋地域、アジア太平洋地域、豪州、他)

2. 国際シンポジウムに関わる周知啓発(メディア等への働きかけ)への協力

- (1)シンポジウム主催者へのメディア対応へのアドバイス
- (2)シンポジウム主催者へメディア関係者の紹介

3. 国際シンポジウムに関わる運営への協力

- (1)日時:2016年7月19日～20日
- (2)場所:ザ・キャピタルホテル東急
- (3)参加者数:約200人
- (4)内容:基調講演、テーマ別セッション、交流会等

(2) イベント開催概要

| | |
|-------------|---|
| イベント名 | 海の人材育成に関する 国際シンポジウム |
| イベントの目的・ねらい | <p>誰もが参加可能なシンポジウムで、海の健全性を改善するためのキャパシティ(能力)構築に関する革新的な取り組みについて検証を行う。</p> <p>海を大切にする方法を改善するために有効な策とそうでない策、改善の可能性がある領域を発見するために、(小さな)コミュニティレベルでの活動や国際的なネットワークにおいて成果を挙げている活動の実践例を紹介する。</p> <p>具体的には、海洋教育、海洋生物資源管理、海洋と沿岸管理、気候変動への適応、多様な利害関係者間のネットワークなどの問題に関連する人材育成に特に効果的な取り組みを取り上げ、それぞれについて上述の要素を検討。さらに、キャパシティ(能力)を向上させ、それを維持していく上での困難な課題についても議論を行う。</p> <p>総合的に見れば、持続可能な「ブルー・エコノミー」は実現可能であり、実現すれば、雇用や食料、観光やエネルギー、さらにそれ以上のものを世界に提供すると同時に、現世代および将来世代のために海の健全性の保護と保全をもたらすことができる。</p> <p>そのため、まずは、海がもたらす地球上の生命に欠かせない恩恵に気づくことから始める。そうすることで、何百万人という人々に、海を大切にし、保護しようという想いと行動が生まれる。そして、海を守っていくための世界中のさまざまな人々に対する教育を通じて取り組みを続け、その過程で人と人とをつないでいく。このシンポジウムは、科学、政府、産業、学术界、国際機関、市民団体を横断する形で新たなパートナーを結集し、海を守るために必要なあらゆる側面に焦点を当てる。</p> |
| 日程 | 7月19日、7月20日 |
| 開催場所 | ザ・キャピトルホテル東急 |
| 参加人数 | 213人 |
| 主催 | 日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省 |
| 共催 | The Nature Conservancy |
| 協力 | |
| 告知方法 | |



(3)プログラム:7月19日

| 7月19日(火) | |
|--|---|
| 大宴会場「鳳凰」1階 | |
| 最初にOpening Movieの投影あり(2分程度) | |
| 9:30-10:00 | <p>オープニング</p> <p>統括進行役: Dr. Hanson Hosein, ワシントン大学 コミュニケーションリーダーシッププログラム学部長</p> <p><u>ホストからの挨拶</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 笹川陽平 日本財団会長 ● 土井亨 (TBC) 国土交通副大臣 ● 松本文明 (TBC) 内閣府副大臣 |
| 10:00-11:00 | <p><u>基調講演</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● HSH Prince Albert II からのビデオメッセージ モナコ大公 ● H.E. Tommy Remengesau Jr. パラオ大統領 ● H.E. Anote Tong キリバス元大統領 ● H.E. The Hon Robert Hill グローバルオーシャンコミッショナー, シドニー大学准教授, 元オーストラリア国連代表 環境・国防大臣 ● Ms. Gabriele Goettsche-Wanli 国際連合法務部海事海洋法課(DOALOS) 課長 |
| 11:00-11:30 | コーヒープレイク |
| 世界海洋人材育成の実践 テーマ 1: 海洋管理 | |
| 11:30-12:30 | <p>オープニングビデオ: Mark Tercek, The Nature Conservancy (CEO)</p> <p>セッション1: 海洋生物資源管理</p> <p>(モデレーター) 太田義孝, Nereus Program 統括者, ブリティッシュ・コロンビア大学</p> <p>発表者 1: Northern Reef Fisheries Project, Ms. Bridget Adachi, パラオ</p> <p>発表者 2: Gokova Bay Marine Protected Area Marine Ranger Project, Mr. Zafer Kizilkaya, トルコ</p> <p>発表者 3: Panabo City Pride Campaign, Ms. Girley S. Gumanao, フィリピン</p> <p>(パネリスト) Dr. Arni Mathiesen, FAO 水産資源部長</p> |

事業ID:16342150

事業名:国際的な海洋問題に係る周知啓発事業の推進(海と日本プロジェクト)

団体名:一般社団法人環境メディアフォーラム

極秘

| | |
|-------------|---|
| 12:30-13:40 | ランチブレイク TED スタイルトーク : Mr. Eric Co, ポリネシア航海協会 |
| 13:45-14:45 | セッション2: 海洋環境の保全 (モデレーター) Ms. Kate Brown, Global Islands Partnership (GLISPA)理事 発表者1: Marine Planning Partnership for the North Pacific Coast, Mr. Doug Neasloss, カナダ 発表者2: MIHARI Network, Ms. Vatosoa Rakotondrazafy, マダガスカル 発表者3: Maui Nui Makai Network, Mr. Jay Carpio, ハワイ, アメリカ (パネリスト) Dr. Susan Lieberman, 野生動物保護協会 (WCS) 国際政策担当副会長 |
| 14:45-15:00 | コーヒーブレイク |
| 15:00-16:00 | セッション3: 政策決定へとつなげるための科学 (モデレーター) Ms. Gabriele Goettsche-Wanli, 国際連合法務部海事海洋法課(DOALOS) 課長 発表者1: Oyster Goals Project, Dr. Robert Brumbaugh, アメリカ 発表者2: Citizen Science Fishermen Network, Mr. Muhammad Mahmudur Rahman, バングラデシュ 発表者3: Humboldt Current Project, Mr. Hector Hernan Samillan Paz, ペルー (パネリスト) Dr. Melchior Matakai, ソロモン諸島 環境・気候変動・防災管理・気象省事務次官 |
| 16:10-17:10 | セッション4: 気候変動への対応 (モデレーター) Mr. Jesse Gerstin, クリントン気候イニシアチヴ 上席政策マネージャー 発表者1: Climate Adaptation and Sustainable Financing, Dr. Frauke Fleischer-Dogley, セーシェル 発表者2: At the Water's Edge, Mr. Terry J. Charles, グレナダ 発表者3: Mwanus Endras Asi Resource Development Network, Mrs. Ulu Hansel, パプアニューギニア (パネリスト) 升本順夫, 東京大学 理学部地球惑星科学専攻教授 |
| 17:10-17:20 | クロージング |
| 18:30-20:00 | レセプション 日本財団と日本政府による共催 (招待制) |



(3)プログラム:7月20日

| 7月20日(水) | |
|--------------------------------------|--|
| 大宴会場「鳳凰」1階 | |
| 9:00-9:30 | <p>オープニング</p> <p>TED スタイルトーク : Ms. Tuhiira Tucki Huke, Kakaka Here Henua, イースター島(チリ)</p> |
| <p>世界海洋人材育成の実践</p> <p>テーマ2:教育と連携</p> | |
| 9:40-10:40 | <p>ビデオメッセージ: <i>The Honorable Dr. Jane Lubchenco</i>, 米国科学特使, オレゴン州立大学教授</p> <p>セッション5:若年層向けの海洋教育プログラム</p> <p>(モデレーター) Dr. Jamison Ervin, 国際連合開発計画 地球生態系と生物多様性のプログラム 上級政策顧問</p> <p>発表者1: 黒潮実感センター, 神田優, 日本</p> <p>発表者2: Kelompok Peduli Lingkungan Belitung Coastal Community Group, Mr. Budi Setiawan, インドネシア</p> <p>発表者3: Watamu Marine Association, Mr. Justin Kenga, ケニア</p> <p>(パネリスト) Dr. Margaret Spring, モントレーベイ水族館 科学保全担当副理事</p> |
| 10:40-11:00 | コーヒーブレイク |
| 11:00-12:00 | <p>セッション6:分野横断的な教育・トレーニング</p> <p>(モデレーター) Mr. Kristian Teleki, 英チャールズ皇太子財団 国際持続可能性ユニット 上級海洋アドバイザー</p> <p>発表者1: TRY Oyster Women's Association, Ms. Fatou Janha Mboob, ガンビア</p> <p>発表者2: Caribbean Biodiversity Fund, Mr. Yabanex Batista</p> <p>発表者3: The Pescadero Program, Ms. Maria Jose Mesen, メキシコ</p> <p>(パネリスト) Dr. Gregory Stone, コンサベーション・インターナショナル 海洋科学者チーフ</p> |
| 12:00-13:10 | ランチブレイク |
| 13:15-14:15 | <p>セッション7:多様な利害関係者によるグローバルな取り組み</p> <p>(モデレーター) Dr. Valerie Hickey, 世界銀行 環境・天然資源に関するグローバルプラクティスプログラム・マネージャー</p> <p>発表者1: Reef Resilience Network, Ms. Petra MacGowan</p> <p>発表者2: Western Indian Ocean Certification of Marine Protected Area Professionals, Mr. Arthur Omondi Tuda</p> <p>発表者3: Coral Triangle Initiative Women Leaders' Forum, Ms. Roziah Jalalid</p> <p>(パネリスト) Mr. Taholo Kami, IUCN 国際自然保護連合 オセアニア地域代表</p> |

| | |
|-------------|---|
| 14:20-15:20 | <p>特別パネルディスカッション: 次世代を見据えた海洋教育のあり方 (モデレーター) 日置光久, 東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター特認教授 (パネリスト) 浅田和伸, 文部科学省大臣官房審議官(高大接続・初等中等教育局担当) 天野未知, 葛西臨海水族館 教育普及係長 工藤泰三, (一社)日本船主協会会長 篠原文也, コメンテーター 永松健次, 国土交通省海事局次長</p> |
| 15:20-15:40 | コーヒーブレイク |
| 15:45-16:30 | <p>総括セッション (モデレーター) Dr. Francois Bilet, 国際連合法務部海事海洋法課(DOALOS) 前任法務官 発表者 1 (テーマ1のモデレーター) : 太田義孝 発表者 2 (テーマ2のモデレーター) : Dr. Valerie Hickey (コメンテーター) Mr. Charles Bedford, TNC 太平洋地域代表</p> <ul style="list-style-type: none"> 各セッションのモデレーターからの報告 海洋のための人材育成に関する共通の成功要因と課題 |
| 16:35-17:30 | <p>クロージング</p> <ul style="list-style-type: none"> H.E. Jan Olsson スウェーデン環境・エネルギー省 環境大使 Mr. Stefaan Depypere EU 海洋及び水産資源管理局部長, ベルギー H.E. Ronald Jumeau 気候変動と小島嶼開発途上国問題に関する大使, セーシェル 海野光行 日本財団 常務理事 |
| 18:30-20:00 | <p>レセプション カクテルパーティ (招待制)</p> |



事業ID:16342150

事業名:国際的な海洋問題に係る周知啓発事業の推進(海と日本プロジェクト)

団体名:一般社団法人環境メディアフォーラム

極秘

(4)登壇者:7月19日

| 9:30~10:00 | | オープニング | |
|---|--------------------|------------------------------|--|
|  | 統括進行役 | Dr. Hanson Hosein | ワシントン大学コミュニケーションリーダーシッププログラム 学部長 |
|  | ホストからの挨拶 | 笹川 陽平 | 日本財団会長 |
|  | | 土井 亨 | 国土交通副大臣 |
| | | 松本文明 | 内閣府副大臣 |
| 10:00~11:00 | | 基調講演 | |
|  | 基調講演 (ビデオメッセージ) | HSH Prince Albert II | モナコ大公 |
|  | 基調講演 | H.E. Tommy Remengesau Jr. | パラオ大統領 |
|  | | H.E. Anote Tong | キリバス元大統領 |
|  | | H.E. The Hon Robert Hill | グローバルオーシャンコミッショナー, シドニー大学准教授, (元オーストラリア国連代表、環境・国防大臣) |
|  | | Ms. Gabriele Goettsche-Wanli | 国際連合法務部海事海洋法課長 |
| 世界海洋人材育成の実践 テーマ1:海洋管理 | | | |
| 11:30~12:30 | オープニングビデオ | Mark Tercek | The Nature Conservancy (CEO) |
| セッション1:海洋生物資源管理 | | | |
|  | モデレーター | 太田 義孝 | 統括者, プリティッシュ・コロンビア大学 |
|  | 発表者1 | Ms. Bridget Adachi | Northern Reef Fisheries Project, パラオ |
|  | 発表者2 | Mr. Zafer Kizilkaya | Gokova Bay Marine Protected Area Marine Ranger Project, トルコ |
|  | 発表者3 | Ms. Girley S. Gumanao | Panabo City Pride Campaign, フィリピン |
|  | パネリスト | Dr. Arni Mathiesen (TBC) | FAO水産資源部長 |
| 12:30~13:40 | | ランチブレイク TEDスタイルトーク | |
|  | スピーカー | Mr. Eric Co | ポリネシア航海協会 |

事業ID:16342150

事業名:国際的な海洋問題に係る周知啓発事業の推進(海と日本プロジェクト)

団体名:一般社団法人環境メディアフォーラム

極秘

| 13:45~14:45 | | セッション2:海洋環境の保全 | | |
|---|--------|--------------------------------|---|--|
|  | モデレーター | Ms. Kate Brown | Global Islands Partnership (GLISPA)理事 | |
| | 発表者1 | Mr. Doug Neasloss | Marine Planning Partnership (MaPP), カナダ | |
|  | 発表者2 | Ms. Vatosoa Rakotondrazafy | MIHARI Network, マダガスカル | |
|  | 発表者3 | Mr. Jay Carpio | Maui Nui Makai Network, ハワイ(アメリカ) | |
|  | パネリスト | Dr. Susan Lieberman | 野生動物保護協会(WCS) 国際政策担当副会長 | |
| 15:00~16:00 | | セッション3:政策決定へとつなげるための科学 | | |
|  | モデレーター | Ms. Gabriele Goettsche-Wanli | 国際連合法務部海事海洋法課長 | |
|  | 発表者1 | Dr. Robert Brumbaugh | Oyster Goals Project, アメリカ | |
|  | 発表者2 | Mr. Muhammad Mahmadur Rahman | Citizen Science Fishermen Network, バングラデシュ | |
| | 発表者3 | Mr. Hector Hernan Samillan Paz | Humboldt Current Project, ペルー | |
|  | パネリスト | Dr. Melchior Matak | ソロモン諸島 環境・気候変動・防災管理・気象省事務次官 | |
| 16:10~17:10 | | セッション4:気候変動への対応 | | |
|  | モデレーター | Mr. Jesse Gerstin | クリントン気候イニシアチヴ 上席政策マネージャー | |
| | 発表者1 | Dr. Frauke Fleischer-Dogley | Climate Adaptation and Sustainable Financing, セーシェル | |
|  | 発表者2 | Mr. Terry J. Charles | At the Water's Edge, グレナダ | |
|  | 発表者3 | Mrs. Ulu Hansel | Mwanus Endras Asi Resource Development Network, パプアニューギニア | |
|  | パネリスト | 升本順夫 | 東京大学 理学部地球惑星科学専攻教授 | |
| 17:10~17:20 | | クロージング | | |
| 18:30~20:00 | | レセプション | | |

事業ID:16342150

事業名:国際的な海洋問題に係る周知啓発事業の推進(海と日本プロジェクト)

団体名:一般社団法人環境メディアフォーラム

極秘

(4)登壇者:7月20日

| | | | |
|---|-------------------|----------------------------------|--|
| 9:00~9:30 | オープニング TEDスタイルトーク | | |
| | | Ms. Tuhiira Tucki Huke | Kakaka Here Henua, イースター島(チリ) |
| 世界海洋人材育成の実践 テーマ 2:教育と連携 | | | |
| 9:40~10:40 | オープニングビデオ | The Honorable Dr. Jane Lubchenco | 米国科学特使, オレゴン州立大学教授 |
| セッション5:若年層向けの海洋教育プログラム | | | |
|  | モデレーター | Dr. Jamison Ervin | 国際連合開発計画 地球生態系と生物多様性のプログラム 上級政策顧問 |
|  | 発表者1 | 神田 優 | 黒潮実感センター, 日本 |
|  | 発表者2 | Mr. Budi Setiawan | Kelompok Peduli Lingkungan Belitung Coastal Community Group, インドネシア |
|  | 発表者3 | Mr. Justin Kenga | Watamu Marine Association, ケニア |
|  | パネリスト | Dr. Margaret Spring | モントレーベイ水族館 科学保全担当副理事 |
| セッション6:分野横断的な教育・トレーニング | | | |
|  | モデレーター | Mr. Kristian Teleki | 英チャールズ皇太子財団 国際持続可能性ユニット 上級海 洋アドバイザー |
| | 発表者1 | Ms. Fatou Janha Mboob | TRY Oyster Women's Association, ガンビア |
|  | 発表者2 | Mr. Yabanex Batista | Caribbean Biodiversity Fund |
|  | 発表者3 | Ms. Maria Jose Mesen | Pescadero Program, メキシコ |
|  | パネリスト | Mr. Gregory Stone | コンサベーション・インターナショナル 海洋科学者チーフ |
| 12:00~13:10 | ランチブレイク | | |

事業ID:16342150

事業名:国際的な海洋問題に係る周知啓発事業の推進(海と日本プロジェクト)

団体名:一般社団法人環境メディアフォーラム

極秘

| 13:15～14:15 セッション7:多様な利害関係者によるグローバルな取り組み | | | | |
|--|---|---------|------------------------|---|
| |  | モデレーター | Dr. Valerie Hickey | 世界銀行 環境・天然資源に関するグローバルプラクティスプログラム・マネージャー |
| |  | 発表者1 | Ms. Petra MacGowan | Reef Resilience Network |
| |  | 発表者2 | Mr. Arthur Omondi Tuda | Western Indian Ocean Certification of Marine Protected Area Professionals, 西部インド洋地域 |
| |  | 発表者3 | Ms. Roziah Jalalid | Coral Triangle Initiative Women Leaders' Forum |
| |  | パネリスト | Mr. Taholo Kami | IUCN国際自然保護連合 オセアニア地域代表 |
| 14:20～15:20 特別パネルディスカッション:次世代を見据えた海洋教育のあり方 | | | | |
| |  | モデレーター | 日置 光久 | 東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター特認教授 |
| |  | パネリスト | 浅田 和伸 | 文部科学省大臣官房審議官(高大接続・初等中等教育局担当) |
| | | パネリスト | 天野 未知 | 葛西臨海水族館 教育普及係長 |
| |  | パネリスト | 工藤 泰三 | (一社)日本船主協会会長 |
| |  | パネリスト | 篠原 文也 | コメンテーター |
| | | パネリスト | 永松 健次 | 国土交通省海事局次長 |
| 15:45～16:30 結論 | | | | |
| |  | モデレーター | Dr. Francois Bailet | 国連海洋・海洋法課(DOALOS) 前任法務官 |
| |  | 発表者1 | 太田義孝 | テーマ1のモデレーター |
| |  | 発表者2 | Dr. Valerie Hickey | テーマ2のモデレーター |
| |  | コメンテーター | Mr. Charles Bedford | TNC太平洋地域代表 |
| 16:35～17:30 クロージング | | | | |
| |  | | H.E. Jan Olsson | スウェーデン環境・エネルギー省 環境大使 |
| |  | | Mr. Stefaan Depypere | EU海洋及び水産資源管理当局部長, ベルギー |
| |  | | H.E. Ronald Jumeau | 気候変動及び島嶼国の持続可能な発展に関する大使, セーシェル |
| | | | 海野光行 | 日本財団 常務理事 |
| 18:30～20:00 レセプション | | | | |
| | | | | |